

# 中原消防団 広報誌

第 16 号  
発行 平成 25 年 7 月  
題字 中 田 隆 氏

# 翔太



## 第 42 回中原消防団消防大会開催 大戸分団 総合優勝 小型ポンプ操法 一般競技ともに

### 小型ポンプ操法の部 四連覇



左より 工藤班長、小泉団員、渡邊団員、山田団員

●喜びの声●  
優勝した大戸分団より  
指揮者 工藤由美雄 班長  
(大ヶ谷戸小田中町会)  
大会に向けて二月から訓練が始まり、寒い夜の訓練から汗ばむ訓練まで終わってしまえば、あっという間でした。私自身、最近はずっと走り続けることが少なくなると、当日を迎えきれない。一番目スタートでのプ

にはありますが体も多少動けるようになり、一つの訓練の課題を乗り越える事が出来るようになる事に楽しさを感じました。チームも五月になると、選手一人一人の意気込みも強くなって来たと思います。大会まで選手の怪我もなく、動きもいい調子になってきたときに、当日を迎えきれない。一番目スタートでのプ

レッシュャーを感じつつ、体が自然と動き無事に操法を終えました。結果は、最高の成績に終わり大変うれしく思っています。  
最後に長い間訓練に当り、団員の方々のご協力と指導員の方々のご指導を頂き大変ありがとうございます。今回操法を学び今後の消防団活動に役立てていきたいと思えます。

1番員 小泉徳浩 団員  
(神地町内会)

消防団に入団して本当に良かったって思いました。本当に良かった。この感謝の気持ち伝えずにはいられない。本当に何かありがたいなあと感じた。大人ってカッコ良いんだな。何だろう。うまく書けないけど、飲めない酒が慰労会ではめちゃくちゃ美味しかった。優勝記念の金メダルを貰った。



1番員 第1・第2ホースの延長

た時の嬉しさがたまりませんでした。これからは一団員としてまた厳しくご指導をお願いします。

2番員 渡邊貴彦 団員  
(神地町内会)

小型ポンプ操法デビュー戦にて「優勝」できました！これも大戸分団の皆さんの適切で丁寧な指導とOB団員の方の温かい激励の賜物です。また、川崎市役所で議会に関わる仕事をしており、特に3月と6月は本会議のため繁忙期だったので、日々の訓練参加にあたり、職場の皆さんにご協力いただきました。支えてくれた全ての方に感謝です。ありがとうございます。

3番員 山田定喜 団員  
(下小田中二丁目町会)

操法選手として初めて参加させていただきました。充実した素晴らしい経験をさせていただきました。指導員の方をはじめ、団員の皆様大変お世話になり、ありがとうございました。

### 大会成績

総合優勝  
大戸分団

#### 一般競技の部

- 優勝 大戸分団
- 準優勝 住吉分団
- 三位 玉川分団

#### 小型ポンプ操法の部

- 優勝 大戸分団
- 準優勝 住吉分団
- 三位 丸子分団

#### 各団体表彰

- 中原防火協会会長賞 総合優勝 大戸分団
- 中原消防団OB会会長賞 総合優勝 大戸分団
- 川崎北ロータリークラブ会長賞 小隊訓練競技優勝 住吉分団
- セレサ川崎農業協同組合会長賞 小型ポンプ操法優勝 大戸分団
- 一般競技優勝 大戸分団



放水及び筒先員の交替

# 第42回 中原消防団消防大会

平成25年(日) 於：等々力権し物広場

## 大会を終えて



中原消防団長 中 坂 征 一 生

第42回消防大会が晴天の中、多くのご来賓の皆様にご臨席頂き、地域の皆様のご盛大なるご声援と中原消防団員のご協力を受け、無事大会を終える事が出来ました。

これら日頃の関係各位のご支援とご協力の賜物と団員一同心より御礼申し上げます。団員の皆様には長期にわたり訓練大変ご苦労様でした。重ねて御礼申し上げます。さて、あの大会から早や二年が経ち、災害に対する意識がやや薄れてきているように思われます。しかし、東海・南海・東南海などの災害が予想されています。やがて来るこの災害を回避する事は出来ません。その

ために一人一人が意識を持ち、災害に備えていかなければなりません。消防団員はそれの要を担うため、さらなる訓練を重ね、強固な消防団員となる所存です。地域の皆様にはこれからもご支援いただきませう様にお願い申し上げます。尚、本年度より横浜出港北消防団と交流が始まりました。近隣消防団と意見交換し互いに研鑽を重ね、やがては良い活動へ繋がればと考えています。



中原消防団長 小 林 英 木

第42回中原消防団消防大会が晴天の下、盛大に開催されましたことを心よりお喜び申し上げます。また、団員の皆様におかれましては長期間に渡り取り組んで来ましたが、訓練成果を遺憾なく発揮されたことと思います。大変お疲れ様でした。

しているところ。その理由として、訓練体系の関連性がしつかりと訓練項目に組み込まれ、体系的に実施されているところ。火災出場における部隊活動の基礎である「小隊訓練」の迅速な出場を確保するための「防火衣着装訓練」、火災現場到着後の素早いホース延長・伝令・取納訓練、そして放水活動の基礎的な総括としての「小型ポンプ操法訓練」へと拡大してまいります。そして、これらの訓練の集大成として「実践応用操法訓練」が位置づけられています。この基礎から各団の連携へ、そして実践へ結びついた一連の訓練が理に叶ったものであるかと。中原消防団の歴史と先人

達の英知が凝縮した結果であるとともに、何時の時代にも原理・原則は変わらなぬという真理へと導かれていく思いです。本年から横浜市の港北消防団との交流が始まり、本訓練の視察を頂きました。また、7月には東北消防団の夏季消防訓練の視察が計画されています。相互に良いところを学び合い、時にはまきライバルとして技術知識の研鑽に努めて頂ければ新たな消防団のあり方にも発展、成長していくものと確信しております。

消防大会を自覚された多くの市民や来賓の皆様も、その能力の高さにもとより、意識、精神の高さに感動を覚えておられると思います。昨年からは大会を見学させて頂いておりますが、改めて中原消防団の姿を感じ

て、これら日頃の関係各位のご支援とご協力の賜物と団員一同心より御礼申し上げます。団員の皆様には長期にわたり訓練大変ご苦労様でした。重ねて御礼申し上げます。さて、あの大会から早や二年が経ち、災害に対する意識がやや薄れてきているように思われます。しかし、東海・南海・東南海などの災害が予想されています。やがて来るこの災害を回避する事は出来ません。そのために一人一人が意識を持ち、災害に備えていかなければなりません。消防団員はそれの要を担うため、さらなる訓練を重ね、強固な消防団員となる所存です。地域の皆様にはこれからもご支援いただきませう様にお願い申し上げます。尚、本年度より横浜出港北消防団と交流が始まりました。近隣消防団と意見交換し互いに研鑽を重ね、やがては良い活動へ繋がればと考えています。

と確信しております。結びに、生業のかたわら日頃から区民の安全・安心に向け、献身的に活動して頂いていることに改めて感謝を申し上げます。また、中原消防団の更なる発展、健闘をお祈りいたします。

## 優勝技優勝者

### ☆ホース延長・伝令・取納

#### 住吉分団

- 伊藤 大輔 団員 (市ノ坪北町会)
- 磯野 雄一 班長 (市ノ坪北町会)
- 水村 浩一 団員 (市ノ坪北町会)



激走！2本のホースを延長

### ☆防火衣着装

#### 大戸分団

- 田島 道男 団員 (下小田中二丁目町会)



優勝の大戸分団・田島団員

### ☆小隊訓練

#### 住吉分団

- 指揮者 深谷 賢司 部長 (市ノ坪北町会)



選手宣誓 住吉分団 深谷賢司 部長

### ☆応急救護

#### 玉川分団

- 宮前 尚子 団員 (中丸子中町町会)
- 野口 清一 団員 (中丸子中町町会)
- 木村 武三 班長 (中丸子類交会)

### 「初めての広巻搬送 競技結果は！」

#### 玉川分団 宮前 尚子 団員

「一着ですね！」一緒に担架員をして下さった方の言葉で、初めて周りを見て一着であることが分かりました。「ヤッター！」と思いきや、競技の途中でガゼットの袋が開かず「開かない！」と焦りをながら、3回つぶぶやいたのを覚えています。担架を持ち上げた時に、上手く片手が押さえていなかった事に冷や汗が出ました。初めての大会で何も分からず、分団の方々にたくさん教えて頂きました。ありがとうございました。また、訓練に来てご指導して下さいました指導員の方々に感謝致します。



手当てする監副団員



河原高津消防団長と伊藤港北消防団長



男性アナウンサー・猪股部長



審査中の猪股副団長



下部部の皆様今年もありがとうございます



実践応用操法



表彰式



我ら中原消防団

## 消防大会でも踊る消防団員

「消防大会でアトラクションを実施せよ」と広報委員会に指示があったのは5月の半ば過ぎ。検討の結果、演出形式で実績のある住吉分団「ANZAILLE」を全分団規模「NSD45中原消防・団」で実施する事に。各委員は自分団に持ち帰りメンバー集めに奔走する。大会に向けて連日の訓練の中、署のトレーニング室を借りし4日間のレッスンを。また、動画をYouTubeにアップし自習をお願いする。そして、メンバーの考えたキャッチフレーズは「揺れる我が家は踊る。地獄の安心・安全のために。」あの「アンザイル」率いる銀河っ子ダンスユニットNSD45(中原消防・団)の伝説に残る。大会当日、女性団員名を含む50人が参加しダンスを披露し、大きな声援と拍手を頂戴する事が出来た。今回の試みの最大の収穫は、分団同士の競争意識の高い大会に於いて、団員間の「和」や「絆」を再確認する事が出来た事だと思えます。



こちら「アンザイル」の皆さん

猪股 昌美



猪股 昌美

## 火点から見る選手たち

消防大会の操法競技で私がビデオを観ているのは火点(放水を狙う標的)のすぐ横。相撲なら砂かぶりですが、消防だと水かぶりでも何年たつてもそこは魅力的な場所です。小型ポンプ操法はホースを伸ばし、エンジンを始動して放水し、概的を囲す四人一組の競技。私がそこにいるのは、すべての選手の手を動かすためのメラに取り替えるための場所取りでした。四人の選手の動きを一つの画面に収めて見ると、その選手たちの訓練風景までが伝わってくる感じがします。というのも操法はチーム競技。訓練を重ねる中で、自分一人では解決できない問題が出てきます。多くの人に相談し、互いに助け合い、その中で一つのチームになるからです。

大会当日は、成長した選手たちも、そのチームを支えた仲間の声援と共に火点に向かっています。選手それぞれの正確でスピーディな操作が生み出すリズム感がフライングターミの中に心地よい緊張を与えてくれます。どんなチームワークで選手達が来るのか？私はワクワクしながら火点で待ちます！



撮影中の鹿島秀樹班長

## 烈伝 分団の人気者



住吉分団 住吉正基 班長 (市ノ坪北町会)

鈴木正基(すずきただつぐ)班長を紹介します。コールサインは「エンゲイ」。屋号の東横園芸より子供の時からたそう。野口大い声とかなりの強面ですが、地域と家族を愛する

真面目な人柄で、これからの消防団そして地域の中核を担う人物だと思います。今年も操法の指導者として選手と共に汗を流し、アトラクション・ダンスでは天性のリズム感でリードダンサーとして活躍(歌もかなりイケます)。最近では他分団の方との交流も積極的に行っています。是非皆さんも「エンゲイ」に気軽に声をかけて下さいね。(住吉分団 安斎 龍也)

地域と消防

井田中学校地域防災フェスティバルで救命講習

「救命講習を受けて」

川崎市立井田中学校

三年 和田葉奈

家族や身近な友達が目の前で倒れてしまったら、私



全体説明の様子

は何をするべきなのでしょうか。そのような漠然とした思いを明らかにしてくれたのが、この救命講習でした。これまで、人が倒れても自分一人で助けられるものだと、気軽に考えていました。しかしこの講習を受けて、その考えは甘いということに気がつきました。救命は一分一秒を争うもので、周りにいる人が協力してその人を助けることが必要だということがとてもよくわかりました。今回私達3年生は少しですが救命の知識を得ることができま

した。もし何かが起ってしまった時、勇気を出して行動しようと思えます。動ける勇気の心を、これから育んでいけたらと思います。



グループに分れて体験

応急指導員 普及員が活躍

消防大会審査

今回の試み…いかがだったでしょうか？ 今大会では応急・救護競



ゴール後の厳正な審査



技の審査員を応急指導員・普及員の5名で行う事が決まり、私達は公平に審査を

するため、中原消防署・田中救急係長を始め本団の方々と何回か集まり担架や三角巾を使い実際に行いながら検証を繰り返し、指導書及び応急救護審査表を作成しました。また、各分団の訓練にお邪魔し指導させていただいた事も初めて経験させて頂きました。応急講習会とは違い審査する事の大変さと難しさをあらためて痛感いたしました。(住吉分団 田口 真弓)

九都県市合同防災訓練

中原区が川崎市会場

訓練日時・内容

平成25年8月31日(土) 9時~12時(予定)

会場 等々力緑地

【防災関係機関訓練】

- ・救出救助訓練
- ・区本部運用訓練
- ・ボランティア受付訓練
- ・情報伝達訓練
- ・緊急交通路確保訓練
- ・道路啓開訓練
- ・ライフライン応急復旧訓練
- ・緊急物資搬送訓練

給食訓練

放水訓練

15時~18時

(予定)

会場 井田中学校

- ・地域活動型訓練、参加・体験型訓練
- ・災害時参集訓練
- ・避難所開設訓練
- ・要援護者安否確認訓練
- ・要援護者搬送訓練



熱中症を予防して 元気な夏を!

夏に向けて、熱中症になる人が増えてきます。特に小さなお子さんや高齢者には注意が必要です。熱中症を知って、しっかりと予防し、楽しい夏を過ごしましょう。(総務省消防庁H・Pより)

**子供の特徴**

- 汗腺などが未熟
- 地面の照り返しにより、高い温度にさらされる
- 体温調節機能が未熟なため、熱中症にわかりやすい

**保護者の方へ**

- お子さんの様子に十分に観察しましょう!
- 遊びの最中には、水分補給や休憩を!
- 外出時の服装に注意し、帽子を忘れずに!
- 日頃の食生活やウオッシュの定期的な使用、直射日光を避けて暑さを感じない体づくりを継続しましょう!

**高齢者の特徴**

- 汗をかきにくい
- 暑さを感じにくい
- 体温を下げるための体の反応が弱くなっており、自覚がないのに熱中症になる危険がある

**熱中症の応急手当**

- 涼しい場所へ移動し、衣服を緩め、安静に寝かせる
- エアコンをつける、扇風機・うちわなどで風をあて、体を冷やす
- 顔の下・太もものつけねなどを冷やす
- 飲み始めるようであれば水分を少しずつ頻りに与える

① 持病をお持ちの方やお子さんは、かかりつけの医師とあらかじめ相談し、熱中症対策についてアドバイスをもらっておきましょう

編集後記

中原消防団広報誌「翔太」第16号をお届けします。発行にあたり、ご協力に深く感謝致します。

- 発行責任者 生坂 征一  
編集 中原消防団広報部  
広報部長 原 充功  
中原分団 坂西 利秋  
大戸分団 猪股 昌美  
住吉分団 鹿島 秀樹  
玉川分団 横山 芳春  
山本 喜道  
高橋 恒行  
若島 昭仁  
畑 昭仁  
山本 喜道